



# 日高山脈博物館だより

## HIDAKA MOUNTAINS MUSEUM NEWSLETTER

日高山脈博物館は「ジオ・ミュージアム」

道内唯一の地質と岩石の登録博物館！

通算

第77号 2022.12.

### 道内学芸員の中では少数！地質と岩石が専門の日高山脈博物館学芸員の主な活動報告

#### 博物館の学芸員は、常に活動しています。

学芸員は、常に博物館にいて、主に博物館の事業を開催しているようなイメージもあると思いますが、それは博物館の専門職員としての側面の一部であり、それ以外にも常にさまざまな分野や場所などで活動しています。

今年も、主に、野外巡検や博物館を含めた野外学習などの講師依頼を受けました。昨年よりも依頼数が増え、依頼先も、道内・道外さまざまとなりましたが、講師などを承諾する場合も、お互いに新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を講じた上での承諾・実施となりました。

日高町内の関係では、6月に日高町立門別小学校・日高小学校から日高ヒスイなどの岩石に関する「ふるさと学習」にかかる講師を、また同じく6月に日高町立富川小学校から、博物館の展示解説（展示解説とクイズラリー）にかかる講師を、9月には日高小学校2年生の授業で、博物館や図書館の仕事の内容について紹介する役割などを務めました。

また、外部からの依頼としては、5月に南富良野町教育委員会から依頼をいただき、同教育委員会が実施する「千里大学」における博物館展示解説とさんごの沢での地質観察の講師を、6月に環境省からの依頼をいただき、日高山脈周辺の国立公園指定に係る現地視察に関する現地解説を、同じく6月に、北海道博物館協会学芸職員部会オンライン研修会にて、岩石の見分け方などにかかる解説や講話を、9月・11月には、静岡大学の授業における指導援助の依頼をいただき、長期巡検の講師（博物館の展示解説や沙流川での岩石の解説など）、株式会社ハタナカ昭和さまのご協力の下岩内岳採石場周辺の巡検の地質解説などを行ないました。令和4年度日胆地区博物館等連絡協議会研修会 兼 日高管内社会教育研究協議会学芸員部会研修会も、11月に日高で開催され、そこでも野外巡検「石の観察について」の講師を務めました。

他にも、北海道新聞の取材依頼も受け、当館の活動が紹介されました（北海道新聞 2022年8月25日朝刊（日高版）16面）。今後も、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながらも、積極的に博物館活動を行なっていきたいと考えています。



講師を務めている場面の写真です。上から順に、静岡大学の長期巡検（9月7日）、富川小学校の宿泊学習（6月25日）、門別小学校・日高小学校の「ふるさと学習」（6月3日）の場面です。